

第21回・温泉観光実践士養成講座(第3回・花山温泉)の開催要項

温泉観光実践士養成講座実行委員会・温泉観光実践士協会

【開講の趣旨】

温泉観光実践士養成講座実行委員会では、「温泉の正しい理解、温泉観光地の活性化に関する人材の育成」を意図して、関西会場では、大阪観光大学で2009年7月に第1回「温泉観光実践士養成講座」を開催し、2019年の花山温泉の開催で11年目を迎えました。本講座は主に実践面を重視した講座であり、平易な講義によって、温泉を正しく理解した上で、温泉観光地の振興・活性化に寄与する人材を育成したいと考えます。主な科目は「温泉地の歴史」「温泉地と文学」「温泉」「温泉旅館の経営」などで、2013年からは「温泉地と旅行企画」、2014年は新たに「温泉施設の経営」を開講し、2015年は科目と講師の一部入れ替えを行い、そして、2016年は特別ゲスト、2017年(大阪会場)は会場を大阪から和歌山(花山温泉)に移し、新たに「温泉と美容」、2018年は新たに「紀泉温泉修験道」を開講し、一層の充実を図っております。当初は、大学の地域貢献の一環として企画したもので、これが現在でも生かされております。従って、講座テキストの作成が第1回から行われています。

温泉観光実践士養成講座実行委員会では、日本を代表する観光資源である温泉資源が有効に利用され、正しく活用されることで、いままで以上に温泉と温泉地が広く国民に愛され、さらにはONSENとして外国人にも親しく利用されることを願ってやみません。

本講座では、全講義受講生に対して、温泉観光実践士養成講座実行委員会所定の「温泉観光実践士」の認定証を発行し、3回以上は「温泉観光管理士」、5回以上は「温泉観光診断士」、7回以上は「温泉観光管理診断士」、10回以上は「温泉観光永世診断士」、15回以上は「温泉観光カリスマ」の認定証を発行致します。**10周年を記念して、30回以上は新たに「温泉観光永世カリスマ」の認定証を発行致します。**

ところで、温泉観光実践士の名称ですが、通称「温泉TOP」とします。つまり「温泉トップ」と呼びます。Tは「ツーリズム Tourism 観光事業」、Oは「オーガナイザー Organizer 組織者、世話人、まとめ役」、Pは「プライオリティ Priority (時間・順序が)前[先]であること」の意味で、言い換えれば、「温泉観光事業を先に進める世話役」となります。なお、温泉観光実践士は、**英語表記では『Onsen tourism conductor』**とします。

【主催】温泉観光実践士養成講座実行委員会

【共催】温泉観光実践士協会・和歌山市温泉協会・紀泉温泉修験道名人会・珠洲温泉銭湯道名人会・NPO法人別府八湯温泉道名人会

【協力】(株)ツーリストサポート・み奈美亭・花山温泉薬師の湯・温泉愛好会

【開催日時と講義内容】 2019年1月30日現在 ※講師と時間割は都合により変更することがあります。

月日	内訳	時間割	テーマ	講師	肩書
1日目	受付	09:15-09:45			
2019年	開講式	09:45-10:00	開講の辞	実行委員会	
7月6日	講義①	10:00-11:00	①温泉地の歴史	樽井由紀	大阪観光学研究所学外研究員
土曜日	講義②	11:10-12:10	②温泉地と文学	山路茂則	大阪観光学研究所学外研究員
	昼休み	12:10-13:10	昼休み	各自	
	講義③	13:10-14:10	③温泉	高垣 聡	大阪観光学研究所学外研究員
	講義④	14:20-15:20	④紀泉温泉修験道	中島彰子	杏編集工房代表
	講義⑤	15:30-16:30	⑤温泉施設	西口正敏	花山温泉薬師の湯マネージャー
	講義⑥	16:40-17:10	⑥花山温泉	中村源吾	花山開発㈱代表取締役社長
	諸連絡	17:10-17:20	諸連絡(P.Rタイム)	実行委員会	
	自由時間	17:20-18:50	物販購入、入浴など	各自	
	懇親会	19:00-20:30	懇親会(花山温泉)	希望者	
2日目	ツアー	09:00-09:50	源泉見学など(ロビー集合)	花山温泉	
2019年	講義⑦	10:00-11:00	⑦温泉と入湯税	高橋祐次	大阪観光学研究所学外研究員
7月7日	講義⑧	11:10-12:10	⑧温泉と美容	杉 ちずる	おしゅれはうす ちずる美容室オーナー
日曜日	昼休み	12:10-13:10	昼休み	各自	
	講義⑨	13:10-14:10	⑨温泉地域	浦 達雄	九州産業大学地域共創学部観光学科教授
	講義⑩	14:20-15:20	⑩温泉地と旅行企画	崎本武志	江戸川大学社会学部教授
	課題	15:20-15:50	レポート作成	実行委員会	
	閉講式	15:50-16:10	認定証授与	実行委員会	

【開催場所】 【問い合わせ先】

花山温泉薬師の湯：〒640-8303 和歌山県和歌山市鳴神 574 (JR和歌山駅下車) **東口が便利。**

TEL：073-471-3277 FAX：073-471-6467

【受講定員】

受講定員は60人(会場の都合)。宿泊は36人(1部屋は3～4人)(先着順)。個室対応は出来ませんので、市内のビジネスホテルなどをご利用下さい。9時、和歌山駅東口から送迎バスを出します。

【受講料】

受講料は1万円(会場費・資料代・諸費用込み)。なお、1科目受講は3,000円、その後、1科目当たり1,000円追加となります。宿泊費(1泊2食・税込み)は1万円+150円(入湯税)、宿泊しないで懇親会に参加する方は7,000円(税込み)で、2次会の費用は実費となります。それから、両日共、昼食(弁当・ペットボトル付)が必要な方には、1,000円/日でご用意致します。

【申込方法】

郵便局から下記の口座に振込後、「受講申込書」を郵送またはFAXにてお送り下さい。

店名：四七八 店番：478 普通預金 口座番号：1924961 ハナヤマカイハツ(カ)

振込期限：(宿泊の場合) 2019年6月19日(水) (日帰りの場合) 2019年6月26日(水)

※宿泊先に部屋があれば、申し込みが遅れてもOKです。

申込書送付先：〒640-8303 和歌山市鳴神 574 花山温泉薬師の湯 TEL：073-471-3277 FAX：073-471-6467

【イメージキャラクター】 相澤めぐみ(温泉ソムリエ・温泉観光実践士・演歌歌謡曲歌手「キングレコード」)。

第 21 回・温泉観光実践士養成講座「申込書」

フリガナ 氏 名	男・女 歳
住所 〒 Tel : Fax : e-mail :	
受講歴：今回で_____回目 以下、受講年に○印をつけて下さい。 自己申告制で、温泉観光管理士などの認定証に使用します。 ①2009年、②2010年、③2011年、④2012年、⑤2013年、⑥2014年、⑦2015年、⑧2015年別府、 ⑨2015年東京、⑩2016年別府、⑪2016年大阪、⑫2016年東京、⑬2017年別府、⑭2017年花山 温泉、⑮2017年東京、⑯2018年別府、⑰2018年登別、⑱2018年花山、⑲2018年東京、⑳2019 年別府、㉑2019花山	
受 講 コ ー ス (○印を付けてください)	<p>一部の講義のみ受講 (受講講義に○を付けて下さい)</p> <p>7/6(土) 1・2・3・4・5・6 7/7(日) 7・8・9・10</p> <p><input type="checkbox"/>1講座のみ3,000円、プラス(講座)×1,000円=_____円</p> <p><input type="checkbox"/>7/6昼食1,000円+<input type="checkbox"/>7/7昼食1,000円 (昼食が必要な方は、チェックして下さい)</p> <p style="text-align: right;">合計_____円</p> <hr/> <p>全講義を受講 (懇親会不参加、宿泊なし)</p> <p>1万円+<input type="checkbox"/>7/6昼食1,000円+<input type="checkbox"/>7/7昼食1,000円 = 合計_____円</p> <p style="text-align: center;">(昼食が必要な方は、チェックして下さい)</p> <hr/> <p>全講義を受講 (懇親会参加、宿泊なし) (昼食が必要な方は、チェックして下さい)</p> <p>17,000円+<input type="checkbox"/>7/6昼食1,000円+<input type="checkbox"/>7/7昼食1,000円 =合計_____円</p> <hr/> <p>全講義を受講 (懇親会参加、宿泊あり) (昼食が必要な方は、チェックして下さい)</p> <p>20,150円+<input type="checkbox"/>7/6昼食1,000円+<input type="checkbox"/>7/7昼食1,000円 =合計_____円</p>

【個人情報の取り扱い】

皆様の個人情報は、実行委員会が管理し、法令などに基づき開示する場合を除き、本人の同意なく開示・提供することはありません。